

# 委託事業実施内容報告書

## 平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 非営利活動法人 Jコミュニケーション

#### 1. 事業名称

子ども日本語教室・未来塾

#### 2. 事業の目的

伊勢崎市の外国人児童数は571人で、日本語の初期指導が必要な児童は234人である。学校では日本語の初期指導への充実が図られているものの、中長期の日本語指導はほとんど行われていない。この課題を地域と連携を取りながら未来塾で支援する。また、保護者とともに日本語を学ぶ場を設けたり、一緒に活動する機会を作り、生活者の日本語のフォローにも焦点を当てる。

#### 3. 事業内容の概要

「子ども日本語教室・未来塾」として伊勢崎市とその周辺に住む外国籍児童に日本語及び日本語での学習支援を毎週土曜日に未来塾で実施する。また、地域行政との協働で、行政機関(警察)と子どもと保護者が一緒に活動し、地域の行事に参加したり、安全安心に暮らすルールやマナーを日本語の学習活動を通して学ぶプログラムも実施する。未来塾を保護者が子どもの教育についてなど気軽に相談したり、日本語を学ぶ場になるようにする。

#### 4. 運営委員会の開催について

##### 【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年 8月17日 10:30～ 12:00	1・5時 間	Jコミュ ニケー ション 事務所	高橋清乃 高橋 眞知子 牧原功 結城恵 吉澤多喜男	1. 平成24年度の委託 事業の概要について 2. 養成講座について	1. 文化庁の「標準的なカリキュラム 案」を参照しながら教材作成の方針 についての話し合い 2. 「日本語指導を行う人材の養成・ 研修について」内容の検討と決定
2	平成24年 9月11日 10:00～ 12:00	2時間	Jコミュ ニケー ション 事務所	高橋清乃 高橋 眞知子 吉澤多喜男 茂木克美	1. 日本語教育を行う人 材の養成・研修について 2. 日本語教育のための 学習教材の作成の日程 について	1. 講座の募集案内作成日程と担当 講師決め 2. 関係者の話し合い状況の確認。 子どものレディネス調査の実施方法 についての話し合い

					3. その他	3. 未来塾での2学期の毎回の学習内容のテーマ「友だちになろう(自分のことを話そう)」の説明
3	平成24年 11月16日 16:00~ 17:30	1.5時間	Jコミュ ニケー ション 事務所	高橋清乃 高橋眞知子 牧原功 結城恵 茂木克美 吉澤多喜男	1. 日本語教育を行う人材の養成・研修について 2. 日本語教育のための学習教材の作成の日程について	1. 講座修了報告 2. 第1回教材作成編集会議の報告と進捗状況説明。教材の内容と未来塾での試用予定説明。
4	平成24年 1月11日 16:00~ 18:00	2時間	Jコミュ ニケー ション 事務所	高橋清乃 高橋眞知子 牧原功 結城恵 吉澤多喜男	1. 子ども日本語教室・未来塾の報告 2. 日本語教育のための学習教材の作成について	1.2学期の「友だちになろう(自分のことを話そう)」の実施報告。3学期の「バスに乗ってみよう」の事前学習の準備の進捗状況の報告 2 作成教材の原稿配布と進捗状況の報告。内容、語彙等の検討
5	平成24年1 月11日 16:00~1 8:00	2時間	Jコミュ ニケー ション 事務所	高橋 清乃 高橋 眞知子 牧原 功 結城 恵 吉澤 多喜男	1. 作成教材の実践報告 2. 教材作成について 3. 報告書作成について	1. 実践の振り返りをしての報告 2. 2月20日の編集会議で出た修正箇所最終確認と新たな修正箇所の検討 3. 作成教材の送付方法と日本語教室実施者と教材制作者との記入分担の確認



第1回運営委員会

## 5. 日本語教室の設置・運営

(1) 講座名称 子ども日本語教室・未来塾

(2) 目的・目標 1. 低学力の外国籍の子どもに日本語の力をつけ学力を向上させる

2. 保護者の日本語の学び直しや子どもの日本語教育への理解を深める手助けをする。

- (3) 対象者 外国籍児童とその保護者(一部の講座は保護者も対象として実施)
- (4) 開催時間数(回数) 81 時間 (全 36 回)
- (5) 使用した教材・リソース  
作成教材「バスに乗ってみる」、かんじだいすき(一)～(六)、日本語学級(1)(2)  
ひろこさんのたのしいにほんご(1)(2)
- (6) 受講者の総数 38 人  
(出身・国籍別内訳 ペルー 28人, ブラジル 6人, フィリピン1人 エクアドル3人)
- (7) 受講者の募集方法  
前年度からの参加者対象なので特に募集はしなかった
- (8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年6月30日 9:30~11:30	2時間	粋庵	16名	ペルー(11人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)、エ	①七夕祭りに参加しよう(地域社会に参加する、日本語教室や国際交流のイベントに参加する) ②文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①七夕祭り飾りコンテスト作品についての話し合い ②文字の学習
2	平成24年7月7日 9:30~11:30	2時間	粋庵	13名	ペルー(11人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)	①七夕祭りに参加しよう(地域社会に参加する、日本語教室や国際交流のイベントに参加する)	親子、留学生、警察署員が参加して協力し合い七夕飾りを作る
3	平成24年7月14日 9:30~11:30	2時間	粋庵	11名	ペルー(9人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)	七夕祭りに参加しよう(地域社会に参加する、日本語教室や国際交流のイベントに参加する)	七夕祭り見学、浴衣を着て警察、留学生と一緒にパレードに参加する
4	平成24年7月21日 9:30~11:30	2時間	粋庵	11名	ペルー(9人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)	文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	年齢、日本語の力に合わせて文字学習
5	平成24年7月23日 9:00~12:00	3時間	粋庵	15名	ペルー(11人)、ブラジル(3人)、フィリピン(1人)	夏休みに楽しく日本語の力をつけよう	いろいろな特別活動を通して聞く、話す力をつける。文字の定着を図る。夏休みの自由研究、読書感想文などに取り組む

6	平成24年7月24日 9:00~12:00	3時間	粹庵	15名	ペルー(11人)、ブラジル(3人)、フィリピン(1人)	夏休みに楽しく日本語の力をつけよう	いろいろな特別活動を通して聞く、話す力をつける。文字の定着を図る。夏休みの自由研究、読書感想文などに取り組む
7	平成24年7月25日 9:00~12:00	3時間	粹庵	14名	ペルー(9人)、ブラジル(3人)、フィリピン(1人)	夏休みに楽しく日本語の力をつけよう	いろいろな特別活動を通して聞く、話す力をつける。文字の定着を図る。夏休みの自由研究、読書感想文などに取り組む
8	平成24年7月26日 9:00~12:00	3時間	粹庵	15名	ペルー(11人)、ブラジル(3人)、フィリピン(1人)	夏休みに楽しく日本語の力をつけよう	いろいろな特別活動を通して聞く、話す力をつける。文字の定着を図る。夏休みの自由研究、読書感想文などに取り組む
9	平成24年8月6日 9:00~12:00	3時間	粹庵	10名	ペルー(11人)、ブラジル(3人)、フィリピン(1人)	夏休みに楽しく日本語の力をつけよう	いろいろな特別活動を通して聞く、話す力をつける。文字の定着を図る。夏休みの自由研究、読書感想文などに取り組む
10	平成24年8月7日 9:00~12:00	3時間	粹庵	13名	ペルー(11人)、ブラジル(3人)、フィリピン(1)	夏休みに楽しく日本語の力をつけよう	いろいろな特別活動を通して聞く、話す力をつける。文字の定着を図る。夏休みの自由研究、読書感想文などに取り組む
11	平成24年8月8日 9:00~12:00	3時間	粹庵	11名	ペルー(11人)、ブラジル(3人)、フィリピン(1)	夏休みに楽しく日本語の力をつけよう	いろいろな特別活動を通して聞く、話す力をつける。文字の定着を図る。夏休みの自由研究、読書感想文などに取り組む
12	平成24年8月9日 9:00~12:00	3時間	粹庵	14名	ペルー(11人)、ブラジル(3人)、フィリピン(1人)	夏休みに楽しく日本語の力をつけよう	いろいろな特別活動を通して聞く、話す力をつける。文字の定着を図る。夏休みの自由研究、読書感想文などに取り組む
13	平成24年9月1日 9:30~11:30	2時間	粹庵	10名	ペルー(9人)、ブラジル(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①ショーアンドテルについて知る ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
14	平成24年9月8日 9:30~11:30	2時間	粹庵	10名	ペルー(9人)フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①ショーアンドテルのテーマを決める ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
15	平成24年9月15日 9:30~11:30	2時間	粹庵	12名	ペルー(9人)、ブラジル(2人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①指導者とのやり取りを通して話す内容のメモを作る ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
16	平成24年9月29日 9:30~11:30	2時間	粹庵	10名	ペルー(7人)、ブラジル(2人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①話す内容のメモをもとに作文をする ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
17	平成24年10月6日 9:30~11:30	2時間	粹庵	13名	ペルー(10人)、ブラジル(2人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①話す内容のメモをもとに作文をする ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
18	平成24年10月13日 9:30~11:30	2時間	粹庵	13名	ペルー(9人)、ブラジル(2人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①話す内容のメモをもとに作文をする ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
19	平成24年10月20日 9:30~11:30	2時間	粹庵	12名	ペルー(9人)、ブラジル(2人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①作文の推敲をする ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
20	平成24年10月27日 9:30~11:30	2時間	粹庵	14名	ペルー(11人)、ブラジル(2人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①作文の推敲をする ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習

21	平成24年11月10日 9:30~11:30	2時間	粹庵	16名	ペルー(14人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①作文に必要な年齢相当の漢字を学ぶ ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
22	平成24年11月17日 9:30~11:30	2時間	粹庵	17名	ペルー(15人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①作文の清書、原稿用紙の使い方 ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
23	平成24年11月24日 9:30~11:30	2時間	粹庵	17名	ペルー(14人)、ブラジル(2人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①作文の清書、原稿用紙の使い方 ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
24	平成24年12月1日 9:30~11:30	2時間	粹庵	14名	ペルー(11人)、ブラジル(2人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①ショーアンドテルの練習 ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
25	平成24年12月8日 9:30~11:30	2時間	粹庵	17名	ペルー(12人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする) ②)文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	①ショーアンドテル ②年齢、日本語の力に合わせて文字学習
26	平成24年12月15日 9:30~11:30	2時間	粹庵	17名	ペルー(15人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)	①友だちになろう(自分のことを話そう、印象的な自己紹介をする、母国や家族の紹介をする、質問に答える、丁寧体が使える)	①ショーアンドテル
27	平成25年1月12日 9:30~11:30	2時間	粹庵	14名	ペルー(13人)、ブラジル(1人)	文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	年齢、日本語の力に合わせて文字学習
28	平成25年1月19日 9:30~11:30	2時間	粹庵	14名	ペルー(12人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)	バスの車庫見学の事前学習(わからないことを質問する、丁寧体が使える)	バスの車庫見学の事前学習(バス会社の人への質問を考え、文章にする)
29	平成25年1月26日 9:30~11:30	2時間	粹庵	19名	ペルー(17人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)	バスの車庫見学に行こう	バスに乗って車庫見学に行き、車庫でバスの乗り方、マナーなどを学ぶ
30	平成25年2月2日 9:30~11:30	2時間	粹庵	18名	ペルー(17人)、ブラジル(1人)	バスに乗ってみる	バス会社に礼状を書く、バスに乗る手順、バスの表示、バス乗り場路線図、時刻表、料金について学習する

31	平成25年2月9日 9:30~11:30	2時間	粹庵	18名	ペルー(16人)ブラジル(1人)フィリピン(1人)	バスに乗ってみる	駅でバス乗り場を聞く、バス停の場所を聞く、車内のマナー、優先席などについて学ぶ
32	平成25年2月16日 9:30~11:30	2時間	粹庵	17名	ペルー(17人)	バスに乗ってみる	車内アナウンス、バス停の名前、バス停の漢字の読み、運賃の見方、支払い方などについて学ぶ。最後にビデオを見て総復習をする
33	平成25年2月23日 9:30~11:30	3時間	粹庵	15名	ペルー(14人)ブラジル(1人)	バスに乗ってみる (バスに乗ってスケートセンターへ行こう!)	「バスに乗ってみる」の学習の実践でスケートセンターまでバスで往復する
34	平成25年3月2日 9:30~11:30	2時間	粹庵	15人	ペルー(13人)ブラジル(1人)フィリピン(1人)	文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	年齢、日本語の力に合わせて文字学習
35	平成25年3月9日 9:30~11:30	2時間	粹庵	18人	ペルー(16人)ブラジル(1人)フィリピン(1人)	文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	年齢、日本語の力に合わせて文字学習
36	平成25年3月16日 9:30~11:30	2時間	粹庵	14人	ペルー(12人)ブラジル(1人)フィリピン(1人)	文字、語彙、文型、作文について年齢相当の力をつける	年齢、日本語の力に合わせて文字学習

(9) 特徴的な授業風景

○7月24日 サマースクール・バルーンアート教室

サマースクールは各回3時間のカリキュラムで実施した。24日は通常の文字、語彙、作文などの学習後、「ジェニーさんのバルーンアート教室」を実施した。講師の先生の日本語の説明を聞きながら、作品を作るという活動をした。一対大勢という形で説明を聞き取り作業をすることは外国籍の子どもたちには難しいことだが、子どもたちは風船で作品を作るのが楽しく、集中して説明を理解しようと努力し、作品を仕上げた。



○12月15日 ショーアンドテル

9月からの「友だちになろう(自分のことを話そう)」の仕上げとして一人ずつ前に出てショーアンドテルをした。子どもたちは、自分の好きな物や思い出などから、話すことを決め指導者とのやり取りを通して、言葉を引き出し、たくさんの日本語を学び、メモや作文にしさらに推敲を重ね、清書して大きな声で発表する練習をしてこの日に臨んだ。生きているウサギを持ってきた子、ギターや海の絵を描いてきた子、スマートフォンに入れてきた写真を見せた子などいろいろで、楽しい発表になった。



○2月16日

作成教材「バスに乗ってみる」を試用しての4回目の授業をした。目的地に向かう、車内アナウンスを聞いてみる、バス停に使われる漢字の読み、降りる準備、運賃の見方、子ども半額の計算、両替の仕方、バスの中で見る漢字の読みと意味、降りるときの挨拶などを学び、最後にバスに乗ってから降りるまでの一連の流れをビデオを見て復習した。



(10) 目標の達成状況・成果

子どもたちのポートフォーリオ、毎回の指導記録、学期末の指導記録のまとめ、年度末の指導者ミーティングをもとに検証した。

1回の子どもの参加者平均約14人、指導者の参加者平均約11人。およそ子ども4人に指導者3人という割合で対応でき、子ども一人一人の日本語の力に対応したきめ細かい指導が実施できた。学校生活ではあまり見せない積極性や意見表明やリーダーシップを未来塾の活動で発揮する子が増えた。「バスに乗ってみる」のプログラムを学習しながら未来塾にバスに乗って通える子たちも出てきて、生活者として育つ姿を見ることができた。

(11) 改善点について

保護者が参加したプログラムが好評だったので、親子で参加できる活動を増やすことを検討したい。

## 6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

1. 子どもの日本語指導者のためのレベルアップ講座
2. 子どもの日本語指導者養成講座

(2) 目的・目標

1. 年少者への日本語指導者のレベルアップ
2. 日本語指導者養成

(3) 対象者

1. 日本語指導ボランティア経験者や教師等
2. 日本語指導や国際交流に興味がある人

(4) 開催時間数(回数) 14 時間 (全 7 回)

(5) 使用した教材・リソース

担当講師作成プリント

(6) 受講者の総数 27 人

(出身・国籍別内訳 日本人 26人, ブラジル人 1人)

(7) 受講者の募集方法

上毛新聞、いせさき新聞、Go! 伊勢崎、伊勢崎まちづくりプロジェクトへの情報提供と市議会議員、伊勢崎市教育委員長、近隣の国際交流協会へのチラシ送付。



(8) 養成・研修の具体的内容

回(※)	開催日	時間数	受講人数	会場	内容
①	7月7日(土)	2 時間	11 人	茂木園2F 粋庵	外国人児童生徒の現状と日本語指導
②	7月8日(日)午前	2 時間	12 人	茂木園2F 粋庵	第二言語習得の基礎知識
③	7月8日(日)午後	2 時間	10 人	茂木園2F 粋庵	授業づくりのポイント
④	10月12日(金)	2 時間	15 人	茂木園2F 粋庵	やさしい日本語で教えよう
⑤	10月19日(金)	2 時間	14 人	茂木園2F 粋庵	子どもが「わかる」ということ
⑥	10月26日(金)	2 時間	11 人	茂木園2F 粋庵	日本語教育のエクササイズを体験してみよう
⑦	11月2日(金)	2 時間	11 人	茂木園2F 粋庵	日本語文法の教え方

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

○10月12日「やさしい日本語で教えよう」

どのような日本語が学習者にとって「やさしい日本語」なのか、リライトを体験し、そのポイントを整理し、学んだ。



○10月26日「日本語教育のエクササイズを体験してみよう」

「生活者としての外国人」に対する日本語教育のカリキュラム案についての「教室活動の方法例」で取り上げられた様々なエクササイズについて、概念や学習法・練習法を体験を通して学んだ。



(10) 目標の達成状況・成果

講座終了後アンケート調査を実施した。分かりやすく大変満足との回答が多く、他市の日本語ボランティアや教師の参加もあった。講座終了後、未来塾の指導者として2名が参加することになった。

(11) 改善点について

養成講座、レベルアップ講座の順で開催した方がよいと思ったが、講師の都合で逆になった。

## 7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 「バスに乗ってみる」

(2) 対象 小学生

(3) 目的・目標 バスに乗った経験がない子どもたちが、バス乗り場の確認、ルートと時刻表の確認、運賃の確認と両替・支払い、バスの中でのマナーの遵守等をしながら、バスに乗って目的地まで行って帰ってくるができるようになる。

(4) 構成 (1)テキスト、(2)指導者用サポート情報、(3)絵カード、(4)漢字カード、(5)バス会社質問応答内容、(6)スケートセンター行き案内文、(7)バス車内音声スクリプト、(8)バス動画説明、(9)バス車内音声CD、(10)バス動画DVD

なお、(1)テキストの構成は

- ①バスに関する事柄について、バス会社の人にインタビューしたいことを考える。
- ②無料バスに乗り、バスに乗るための一連の流れを体験する。
- ③バス車庫でバス会社の人にインタビューをする。
- ④バス会社の人にお礼の手紙を書く。
- ⑤バスに乗るための基礎知識（バスに乗る手順、路線図、時刻表）を学ぶ。
- ⑥バスに乗る直前からバス内での過ごし方（バス停の場所の尋ね方、車内マナー）を学ぶ。
- ⑦バス車内から、バスを降りるまでの流れ（車内アナウンス、バスの乗り降りマナー）を学習する。
- ⑧（バスについての学習を思い出しながら）有料バスに乗ってスケートセンターに行く。
- ⑨バスを降りた後に、バスに関する一連の行動がどのくらい達成できたか実践の振り返りを行う。

(5) 使い方

1. テキスト（ルビあり）

子どもに配布する。教室内外で参照し、記入しながら、学習を行う。

2. テキスト「バスに乗ってみる」指導者用サポート情報

指導者に配布する。活動を進める上で参考になるポイントおよび問題の正解例が記載されている。

3. 絵カード 小1、小2、小3

テキストに掲載されている絵カードである。絵カード小1、小2（テキストp8～9のイラスト8枚）は、切り離して並べ替え問題に用いる。

4. 漢字カード

読みを覚える必要がある漢字のカードである。漢字、ひらがながそれぞれ外側になるように半分に折って用いる。読みを覚えていない場合は、まずひらがなを見せながら練習を行う。読みをある程度暗記できた段階で、漢字部分のみ見せ、読みを言わせる。その直後にひらがな部分を見ながら、正しく言えたか確認する。毎回の授業で、繰り返し練習することで、定着をはかる。

5. バス会社質問応答内容

テキストp6バス会社での質問応答の内容である。p4で質問項目を考える際に参考にする。

6. スケートセンター行き案内文「バスに乗ってスケートセンターに行こう」

テキストp16問題7で、配布し、説明したものである。

7. バス車内音声スクリプト

バス停の読み方を学習した後で、テキストp39を見ながら、聞き取れるか音声での確認を行う。

8. バス動画説明

第5単位まで全ての学習を終えてから、バスの学習の総復習として、バスのDVD動画を見せる。

まずバスに乗る一連の流れを映した動画1を初めから終わりまで見せ、

全体を把握させる。その後、動画を止めながら、内容確認を行う。

頭出しが難しい場合には、分割動画を用いる。

動画2は、両替、支払い場面である。両替場面を詳しく、見せたい場合に用いる。頭出しが難しい場合には、分割動画を用いる。

9. バス車内音声CD（ファイル形式：MP3）

問題1 今井町

問題2 信用金庫前

10. バス動画DVD（ファイル形式：Windows Media Video）

動画1：バスが来る～整理券～優先席～バス内マナー～両替・支払い  
～バスが去る

1-1 出口入口

- 1-2 整理券
- 1-3 普通席優先席
- 1-4 メール
- 1-5 ペットボトル
- 1-6 荷物
- 1-7 音楽
- 1-8 支払い、お礼

動画 2 : 両替 紙幣・硬貨～支払い

- 2-1 両替（紙幣）
- 2-2 両替（硬貨）
- 2-3 支払い

(6) 具体的な活用例

- ・バスに乗った経験がない子どもたちを対象に、近隣のバスに乗れるようになる方法を学ぶために使用する。
- ・成人学習者への日本語学習にも活用できる。

(7) 成果物の添付

群馬大学多文化共生教育・研究プロジェクトホームページの「データ・資料等」にリンクをはる予定。<http://jst-tabunka.edu.gunma-u.ac.jp/>

## 8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

低学力の外国籍の子どもに日本語の力をつけ学力を向上させる。保護者へは一緒に参加する機会を作り、保護者の日本語の学び直しや子どもの日本語教育への理解を深める手助けをする。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

1. 日本語教室

子どもたちの学習したポートフォリオ、毎回の指導記録、学期末の指導記録のまとめをもとに検証した。子どもたちは、意見や考えをまとめる、年齢相当の漢字を使って作文する、みんなの前で発表するなどの学習を通して、積極的に学習したり、意見表明ができるようになったりという変化が見られた。

「地域行事に参加する」では、市の七夕祭りに参加した。保護者の参加も多く、一緒に留学生や警察関係者と日本語で話し合いながらコンテストの飾りを作った。当日は浴衣を着て七夕まつりに参加し、警察や留学生と一緒にパレードすることができた。

「バスに乗ってみる」のプログラムを学習しながら未来塾にバスに乗って通える子たちも出てきて、生活者として育つ姿を見ることができた。

2. 人材の養成・研修

講座終了後アンケート調査や聞き取り調査を実施した。分かりやすく大変満足との回答が多く、他市

の日本語ボランティアや教師の参加もあった。講座終了後未来塾の指導者として2名が参加することになった。

### 3. 学習教材の作成

教材効果は、実際に子どもたちとバスに乗ってスケートセンターまで行って帰ってくるができるかどうか、により検証した。平成25年2月23日に、子ども15名(小学生13名、中学生2名)を対象に実施した。

- ・Jコミュニケーションにおいて、高橋真知子氏が漢字カード(「今井町」「本町郵便局前」)、時刻カード(「9:53(出発時刻)」)で、何度か復習を行った。子どもたちは、全員大きな声で言えていた。
- ・事前に子どもに500円ずつ渡した。小学1年から4年まで片道分ずつ100円、5・6年は往復分まとめて500円、中学生も往復分として400円ずつ渡した。
- ・バス料金は、大人190円、子ども100円である。小学生のうち、3人が間違えて190円支払ってしまった。中学生の1人は200円払ってしまった。
- ・バスの乗る時入り口に殺到してしまい、運転手さんから静かに落ち着いて乗るよう注意を受けた。
- ・帰りの運賃の支払いは全員上手にできた。指導者は手伝わず運転手さんと子どもとのやり取りを見守ることができた。
- ・帰りは、バス会社に連絡しておいた時間と違う時間に乗ったので、運転手さんの普段通りの対応を経験した。
- ・テキスト「バスに乗ってみる」の最後のページのチェックリストに子どもたちに口頭で答えてもらいながら、振り返りを行った。上述した成果と課題について子どもたちと整理をし、次回以降のバスの乗降がよりスムーズにできるよう学習の定着・強化をはかった。

#### (3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

伊勢崎市は、ほぼ全域を市の無料バスが走っているが、バスの利用は外国人にとっては難しい。保護者が十分に利用できないので、子どもたちもバスに乗る経験がほとんどない。そこで公共交通機関を使って目的地に移動するというプログラムをカリキュラム案から選び作成した。標準的なカリキュラム案を活用実施するには、基礎になる文字学習が随所で必要になる。文字学習についてのカリキュラム案での指針のようなものがあればと思う。

#### (4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

伊勢崎市の教育委員会や国際課からこの子ども日本語教室・未来塾についての理解を得て、事業内容や成果の報告会を実施した。作成教材の試用に当たり地域のバス会社の協力を得られ、事前学習のバス車庫見学は新聞にも写真入りで取り上げられた。また市役所の国際課にバス停のローマ字表記の併記を提言した。

#### (5) 改善点、今後の課題について

主に子ども対象の日本語教育活動を実施したが、保護者も参加する活動を数回取り入れた。そこで在日期間の長い保護者の日本語を学び直したいという要望を強く感じた。学び直しの希望は文字の読み書き

を希望する人が多く、文字学習を入れこんだプログラムの必要性を感じた。地域の日本語教室も生活者としての日本語クラスから、仕事や資格取得の結びつくようなカリキュラムを実施するクラスの設置等も検討されることが望ましい。

(6) その他参考資料

日本語教育を行う人材の養成・研修の実施後 全講座を終わってのアンケート

1. 全体の印象

イ 大変満足	67%
ロ 満足	33%
ハ 普通	0%
ニ やや満足	0%
ホ 不満	0%

2. 講義内容

イ たいへんわかりやすかった	89%
ロ わかりやすかった	11%
ハ ふつう	0%
ニ 少しわかりにくかった	0%
ホ わかりにくかった	0%

3. 講座項目

イ どの項目も興味が持てた	78%
ロ 大体の項目に興味が持てた	12%
ハ 半分くらいの項目に興味が持てた	0%
ニ 少しだけ興味が持てた	0%
ホ ほとんど興味が持てなかった	0%

4. ボランティア活動や仕事への有益性

イ 今後、大変役にたつと思う	78%
ロ 今後、役に立つと思う	22%
ハ 普通	0%
ニ 今後、あまり役にたつと思わない	0%
ホ 今後、ほとんど役にたつと思わない	0%

5. この講座に関する感想

- ・講師の説明もわかりやすくとてもためになりました。自分がやってきたことに少しでも自身が持てたのと同時にやはり自分自身が勉強をしなくてはいけないと再認識しました。
- ・日本語教育というより基本は人間関係づくりのコミュニケーションの仕方ということで非常に役

にたつと思いました。

- ・ 実例が豊富でグループワークもあったので、具体的な支援方法がイメージできました。
- ・ 年少者の気持ちや理解のレベルについて目を開かされた。今まで支援の対象が大人や学生だったので学ぶところが多かった。
- ・ 自分にとっては、内容のレベルが高く難しかったですが、今後活動するにあたり気をつけるポイントがわかりました。
- ・ 大人対象の場合と異なる点、共通する点を整理することができました。
- ・ 背景や理論はもちろんそこからとても具体的な例、実践を考える機会を頂き、皆さんのアイデアの共有も含めとても役立つ内容でした。
- ・ 理論的事物についての知識はかなり低いレベルの私ですが子どもに接しているので不安だらけでしたが、実際子どもに対して行っている内容として不足はあっても大きく間違っていないかなと感じました。
- ・ 具体的な例がとても新鮮でした。

6. 今後、この講座を受講した成果をどんなことに役立てたいと思いますか。

- ・ お互いの違い、文化の違いを知ることにより共感できれば楽しい人間関係を作れる気がする。
- ・ 今後日本語を教えるにあたり今回の講座で習った事を生かしていきたいと思う。
- ・ 現在担当している学習者への対応に役立てたい。前橋の他のボランティアさんにも話して、年少者への関心をもってもらうように努めたい。
- ・ 関わっている現場の先生方（小・中教員）と話し合う機会に、学んだことを伝えながら実践に生かしていけるようにしたいと思います。
- ・ 未来塾の指導に役立てたいです。
- ・ 現グループでの活動、またそれ以外の活動へも拡げていきたいと思います。
- ・ いま対応している小学生たちは大体日本語はわかるので、いかに概念を簡単にわかりやすく伝えるのか、自分の中で伝えたいことをまとめて役立てたいと思う。

## 「子ども日本語教室・未来塾」終了後の子どもたちの感想

(指導者が最終回に聞き取りアンケート調査実施)

- ・ 未来塾での勉強の方が家でやるより楽しい(先生がいて、みんながいて、おやつつき)
- ・ 漢字の勉強が今までよりよくできるようになった
- ・ 勉強の時間がもっと長くても良い(12 時ころまで)
- ・ 席が近すぎて隣や後ろから声をかけられ集中できないことがある
- ・ 漢字の読み書き音読を少し力を入れてやりたい
- ・ みんなで出来るお楽しみ会を時々したい。公園などに行ってレクレーションなどしたい
- ・ 先生がやさしい
- ・ 1 対 1 で教えてほしい
- ・ 先生がやさしくて、おやつもあって、難しい所はしつこく教えてくれた
- ・ 学校の勉強がわかりやすくなった

- ・いろいろな友だちができるし、先生と友だちになったりするのでとても楽しい
- ・未来塾に来て文がかけるようになった
- ・未来塾のことを考えると楽しみになる
- ・ちゃんとおしえてくれた
- ・漢字とか日本語がよくわからなくても勉強できる
- ・楽しい。お菓子がいっぱいある
- ・漢字をがんばりたい
- ・グループがいい。楽しいおしゃべりができるから
- ・カルタ取りが楽しかった。
- ・もっと漢字の知識を増やしたい。また食についての本を先生と共に勉強したい